

謹賀新年



分社グループ酒井代表

明けまして
おめでとーございませう。
昨年は東日本大震災を筆頭に様々な事件が日本を襲いました。まるで日本が沈没衰退していくのではと不安にさせられた一年でした。
今年はいったいどんな年になるのでしょうか？
私は日本が少子高齢化のために社会構造が変わることは避けられないと思います。この事は私ばかりでなく多くの

地震による津波から冷却のための電源を喪失したことに起因する今回の事件は乗り越えていかなければならない問題であり、乗り越えられない問題だということだと思います。
我々の暮らす社会はさまざまな危険に満ちています。人間は利便を追求する生物で、その性質が今日の文明を築きあげてきたわけです。利便には危険が付き物で

日本人が感じている事だと思えます。その社会構造の変化はこれまでの発展とは異なつたあり方を要求するはずですが、それがどのようなものかは数年のうちにはハッキリしてくるのだと思います。
私自身もこうだと言いつつ切れるほどのものを持ち合わせてはいませんが、一つだけ日本が賢明な選択をする為に必要なことがあります。それは福島第一原発にかかわることです。

乗り物を考えただけでも想像がつかず。車は交通事故を、新幹線は脱線転覆を、飛行機は墜落をします。その確率は進化したもののほど低いのですが、一度事故が起きると高度に便利なものほど被害は大きくなります。だからと言って車をやめるとか、飛行機を廃止しろという人はよほどの変わり者でない限りないと思います。
原発をどうするか？
私は今回の被害を教訓に事故の確率を減らすように進化させた原発にして世界に貢献してゆ

くのが現実的な対応だと思っております。
ところで、電気代が値上がるそうです。お年玉になる話を一つ。
手前味噌な話で申し訳ないのですが、太陽工業(株)が開発したデマンド・コントロールは現在のところ日本で最高性能を誇る電力量削減の製品です。電力が足りるようになるまでまだ相当の時間がかかると思いますので防衛手段として自信を持ってお勧めいたします。今年がよい年でありませうように。

第30号
(新年号)

分社

分社グループ会報

《発行元》

分社理念研究所 事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田

8丁目11番21号

tel 03-5496-1810

fax 03-5496-1881

社長会・吉生会開催

平成23年12月16日(金)コ
ートヤード・マ
リオット銀座
東武ホテルに
おいて社長会
並びに吉生会
が開催されま
した。



橋本久義氏



小澤徹夫氏



乾杯:
篠崎会長



中締:
真道社長

社長会では事務局からの連絡後、弁護士の小澤徹夫氏を講師にお迎えし、勉強会を行いました。
吉生会は政策研究大学院大学教授橋本久義氏をお招きしての講演



会と懇親会(忘年会)が催され、和やかな歓談のひと時のうちに終了致しました。

2012年(平成24年) 新しい年を迎えて

ご当地自慢・ご当地紹介

さて、本号(2012(平成24)年新年号・第30号)では、『ご当地自慢・ご当地紹介』をテーマにグループの皆様からお寄せ頂いた寄稿文をご紹介します。

事業所のある地につわる歴史・史跡、絶品グルメ、またお正月の習慣や観光スポット、1年間の歩み等々…心温まるメッセージやお写真をたくさんお寄せいただきました。

北から順にご紹介して参ります。

原稿作成にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

岩手県

(株)大昌電子



県の花 桐



世界遺産登録 平泉



東日本大震災を乗り越えて、岩手より我々、大昌電子はお客様へ製品をお届けします。

『震災と世界遺産』

新年、明けましておめでとうございます。

昨年の東日本大震災の際は、ご心配をお掛け致し、またご支援を頂きありがとうございました。

岩手工場は3月11日と4月7日の2回、震度6弱の地震に見舞われ、ハードへの被害は甚大でしたが、人的被害と周辺地域への汚染が無かったことは不幸中の幸いでした。大昌を取り巻く皆様からの『早く立ち直ってくれ』という暖かい応援がエンジンとなり4月末には惨禍から復旧し、稼動を再開致しました。

地震は悪いことだけをもたらしたのではなく、二つの財産を手に入れさせてくれました。心をひとつにし、行動することの実感を皆

に与えてくれたこと、もうひとつはこれまでは外部業者様頼みだった技術と技能が身に付いたことです。

さらに震災から3ヶ月後には、工場から車で50分の距離にある砂金に支えられていた平泉の仏国土(浄土)を表す建築・庭園と遺跡が世界遺産に登録されました。マルコポーロが東方見聞録で言う世界中の人々が行きたいと思った「黄金の国ジバング」は、平泉との説もあります。

『ここからプリント配線板を供給してもらいたい』とお客様方が思う工場を目指し、皆が心をひとつにし、今日より明日、明日より明後日が良くなる事を積み重ねて参ります。分社グループの皆様、今年もよろしくお願ひ致します。

(株)大昌電子 品質保証本部 岩手品質保証部長 菊池豊志

インテグラン(株)

新年あけましておめでとうございます。

東日本大震災においては、多くの励ましのお言葉やお見舞いを頂戴し、厚く御礼申し上げます。

弊社岩手工場の立地する岩手県藤沢町、藤沢野焼祭を紹介いたします。

「焼き物の原点は”野焼”である。」昭和51年、藤沢焼の窯元が提唱し、土器を創り、露天で焼き上げる最も簡単な手法「野焼」を開催した第1回から昨年で36回目を数えるそうです。

縄文土器や埴輪、怪獣等の作品を野焼きという最も原始的な手法で焼成するもので、作品は当地域のみならず、

全国から募り、毎年2000点を超える出品があり、夏の夜空を赤々と焦がす壮大な火祭りです。この取り組みにはこれまでに多くの著名人の参加や賞賛をいただいているそうです。

写真は藤沢町の文化会館のシンボルモニュメントで、日本を代表する芸術家、岡本太郎氏寄贈のブロンズ彫刻「縄文人」です。岡本太郎氏はこの文化施設を「縄文ホール」と命名し、緞帳(どんちょう)のデザイン「炎」を寄贈されるなど熱心な応援団でした。今年は、公私ともに、飛躍の年になるよう、日々の努力を惜しまず、邁進したいと思っております。本年もよろしくお願い申し上げます。



インテグラン(株) 経営管理部 佐藤則基

山形県

大金電子工業(株)



県の花 ベにばな



新年明けましておめでとうございます。

分社グループの皆様には今年も変わらぬご指導とご鞭撻をお願いすると共にご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は、世界同時不況からの脱却と景気回復基調を含んだ穏やかな年明けのスタートとなり、経営環境も上向き傾向に推移しておりましたが、3.11の東日本大震災を境に原発事故や台風災害、タイ洪水災害が発生、併せて円高・株安・欧米経済不安等も影響し先行きの見通しが軒並み落ち込む厳しい展開に終始しました。そのような事業環境に対しては「環境を嘆くよりも、自分達の足元を正しく見つめ、言い訳や責任転嫁をしない。業績が不調となる原因は外的要因ではなく内部要因にある」という気概を持って仕事に取り組むように心掛けました。

これまでと変わらず変化の中からチャンスを生み出す思考のもと新たな事業の創造に今年も挑戦します。『一陽来復』

大金電子工業(株) 代表取締役社長 本間 修

写真：フォックス・フェイス

従業員の方が自家栽培している貴重なナス科の植物。当社幸運のシンボル！

いつも素晴らしい出来映えを觀賞させて頂いております。



栃木県

富士精密(株)



県の花 やしおつつじ



『さくら市はこんなに素敵な所です』

新年明けましておめでとうございます。

今年は、辰(昇り竜)にあやかりまして分社グループ全体が右肩上がりになるように祈っております。

さて、私の住む栃木県さくら市は宇都宮市の北東に近接したところがございます。

さくら市は平成17年3月に氏家町と喜連川町が合併して誕生しました。

市名になった『さくら』の見所は両地区に点在しており、中でも喜連川温泉は『日本三大美肌の湯』にも選ばれております。温泉観光をはじめ、丘陵の緑、清流等の豊かな自然、城下町や宿場町としての歴史、ゴルフ場等の豊かな観光資源を有し首都圏からの手軽な観光地として位置しているところです。

見る・・・歴史と文化がいっぱいあった見所がたくさんあります。

遊ぶ・・・釣りに、キャンプに、ゴルフに、遊び方色々。

癒す・・・硫黄・塩分・鉄分を含む弱アルカリ温泉で優良な泉質です。

食べる・・・鮎料理・そばと癒しの空間で食すおいしい料理がいっぱいあります。

泊まる・・・ホテル・旅館・民宿とあなたの好みの宿を見つけてください。

皆様も是非、栃木県にお寄りの際は『さくらの街』へお立ち寄りください。

富士精密(株) 管理部資材係 係長 荒木 茂



筆者は写真向かって右から二人目

(株)トライターム

新年あけまして
おめでとうございます。

昨年は災害、不景気と大変な一年でありました。現在、企業として生き残れていることに感謝してトライタームは今年一年、一生懸命努力し厳しさを乗り越えていきます。

さてテーマであります”ご当地自慢”であります、ここ宇都宮はやはり餃子！！とカクテル！！チョコレート餃子、チーズ餃子・・・など奇抜なものまであります。みなさんご存知でしょうか？

宇都宮にお越しのときには是非、昼は餃子をつまみ、夜はカクテルに酔う、そんな素敵な楽しみを味わってください！

そして是非我がトライタームにも立ち寄ってください。

それでは分社グループ各社のみなさん、今年一年健康に留意してがんばりましょう！！

(株)トライターム 製造部部长 坪山啓二



イメージ



イメージ

埼玉県

(株)幸大ハイテック



県の花 さくら草



謹んで年始のご挨拶を申し上げます。

当社は、埼玉県北東部の羽生市に、羽生工場、第二工場があります。第二工場付近の住宅街には小さな神社があります。この小さな神社は、天文年間(1532～1555)中頃に古河公方4代足利晴氏の配下であった広田直繁・木戸忠朝の兄弟により築城されたと想定されている羽生城のあった場所です。羽生城の歴史は、といいますと……

羽生城は、上杉謙信の関東の拠点といわれ、城主は謙信に参陣し小田原城攻めで軍功を挙げた広田直繁と木戸忠朝の兄弟とされています。1554(天文23)年、北武蔵に侵攻してきた北条氏康により羽生城は落城させられ、中条出羽守が城代となりました。1560(永禄3)年、羽生城は関東に侵攻した上杉謙信により取り戻され、あらためて広田直繁・木戸忠朝兄弟に安堵されました。やがて北条氏政の勢力による支配を経て、後に徳川家康の関東の諸城として2万石で大久保忠隣が入城、有名な大久保彦左衛門忠教も領内で2万石を与えられていました。

慶長19年(1614年)に大久保家は大久保長安事件に連座して改易され、羽生城は廃城となり天領となりました。現在では、ゆるキャラサミットで注目を浴びている羽生市内には、厳しい戦国の歴史に翻弄された城が存在したことを示すものは「史跡羽生城址」の碑のみとなっています。昨年は東日本大震災、原発問題、タイの大洪水など地球規模で自然災害が発生し、当社も少なからず影響を受けました。グループ各社様におかれましても、災害に遭われた方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

当社では昨年の10月から課長職以上が行動宣言を掲げています。

私の行動宣言は「3配り」です。

”目配り・気配り・心配り“ ”感じて、考え、行動する” です。

私自身も昨年11月に営業本部へ転属となり、羽生城が辿った戦国時代にも似た激動する情勢、自然災害、顧客などの取り巻く環境の予期せぬ事態に対応すべく、感じて、考え、行動し、売上拡大していきます。



(株)幸大ハイテック 営業本部 齋藤幸男

大陽工業(株)

あけましておめでとうございます。

昨年は、東日本大震災、タイの洪水、欧州問題、円高問題と激動の一年でした。

今年は辰年。辰・辰年の語源由来の「動いて伸びる」「整う」のごとく、積極的な事業活動でこの経済状態を乗り切りたいと思います。

さて、私の住む街には埼玉県名の発祥とも言われている「さきたま古墳公園」が有ります。万葉集には、「前玉;さきたま」や「佐吉多万;さきたま」などという地名を表記した和歌が納められているそうです。

公園内には1500年前位に建造された古墳(大きいものは9基)が有ります。学術的には定かではないようですが、大昔武蔵の国に大きな勢力を持って支配していた人々なのは間違いのないところ。私も古のパワーにあやかりたく、毎日ウォーキングしています。

是非一度お越しください。

大陽工業(株) 取締役 羽生事業所長 井桁勝美





新年明けまして

おめでとうございます。

(株)コダビット

昨年は、東日本大震災による津波や、タイの洪水など様々な自然災害が発生した年でした。ここで、コダビットが居を構える羽生市の洪水にまつわる伝説について述べたいと思います。昔々利根川は羽生市川俣で二股に分かれて東京湾に流れていたという話です。

今から約四百年前まで、利根川は埼玉と群馬を結ぶ昭和橋付近から二股に分水していました。利根川の河口は現在千葉県銚子ですが、往古は江戸湾(東京湾)に注ぎ、その流れは網の目の様だったといひます。利根川は川俣で東と南に分かれると、東を「浅間川」、南を「会の川」といひ、

本流は後者の「会の川」でした。往古は「暴れ川」と呼ばれ大雨のたびに洪水に悩まされていたようです。天正18年、関東へ入府した徳川家康は、洪水から江戸を守るために忍城主松平忠吉に会の川の締切を命じました。会の川の締切工事は、江戸湾に注いでいた利根川を現在の銚子へと流路を変える最初の工事ということになります。現在でも会の川は羽生市内を流れておりますが、江戸時代初頭から小さな用水路となり新田開発に役立つそうです。「後世に意義のある物を残す。」ご当地の伝説を調べてみて、改めて我々に問いかけられた思いがします。

(株)ウィーゴ

羽生に
ようこそ

いがまんちゃん



ほお～～

(株)コダビット 羽鳥光弘

新年、あけましておめでとうございます。

当地(羽生市)にも、戦国時代には沼に囲まれた水城があったようです。羽生城主の木戸氏は古くから、上杉氏(関東管領)に属していました。上藤井村源長寺は、木戸氏の開基と伝わり、源長寺所蔵の旧記に「木戸伊豆守忠朝、弘治二年築城し、羽生領五万八千石を領せり。」とあります。

羽生城は、古河公方や相模北条氏に対する北武蔵の上杉方の拠点として重要な城だったようです。周りの城が次々と北条側に寝返る中、孤軍奮闘したのが羽生城主、木戸忠朝です。この時代には、「二者に仕えず」という武士道概念はありませんが、木戸氏は悲壮感の中にあって、最後まで上杉氏に忠義を尽くします。



*参考・関連サイト：帝國博物学協会

これに対して、謙信は激励の手紙だけでなく「黄金貳百両」も贈っています。羽生のどこかに埋まっているという「埋蔵金伝説」の基になったエピソードです。

しかし、勢いに乗る北条側の度重なる攻撃を受け、松山城、岩槻城などの要衝を奪われ、上杉方は次第に追い詰められていきます。ついに「関宿合戦」の敗北に至り、天正2(1574)年、上杉謙信は、羽生城に自落の命を下し、木戸忠朝の名は史料から消えます。羽生城、最後の戦いで長子重朝共々戦死したと推測されています。又、これを境に謙信の関東遠征も無くなります。

こうして、自分たちの領地を守るために果敢に戦った木戸氏や羽生城も歴史の中に埋もれてしまいました。現代の日本企業も戦国時代さながら、生き残りに必死な状況です。地元、先達に負けず、懸命に取り組み生き永らえるよう必死にならねばと思わされる史実です。今こそ、個々の力を結集させ、全体の力で閉塞感を打開していかねばならない時期だと考えます。

本年も一層のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。



(株)ウィーゴ 斎藤浩一

新年明けましておめでとうございます。

(株)ダイチューテクノロジーズ

今年のご当地自慢がテーマなので

第2回「ゆるキャラサミットin羽生」を紹介します。

「ゆるキャラサミット」とは、市町村を代表するマスコットキャラクターの「着ぐるみサミット」のことです。今回、このサミットに30都道府県から172体の「ゆるキャラ」が参加しました。ちなみに羽生市では7体のゆるキャラが参加しました。ダイチューは1体のキャラが参加しました(粕谷)・・・？

この催しは昨年の11月26日～27日に羽生水郷公園で行われました。羽生水郷公園は当社から徒歩5分のところにあります。まだ第2回目で歴史は浅いのですが、13万人以上の方が来場しました。ダイチューテクノロジーズも毎年協賛し、駐車場の提供とキャラの参加をしています。

今年の「ゆるキャラ」グランプリ1位に輝いたのは、熊本県の「くまモン」でした。

(株)ダイチューテクノロジーズ 取締役 粕谷 滋



ゆるキャラ GATE



ダイチュー ゆるキャラ (爆笑?)



ゆるキャラ メインステージ

東京都

(株)ニューシステムズテクノロジー



都の花 ソメイヨシノ



新年おめでとうございます。

入社して約3年になりますがいろいろな困難に遭遇しました。

入社したての頃はただ指示された事をこなしていくのも大変だったのですが、少しずつできるようになり、それができると次のステップとして自分で考え改善策を見つけ実行して行かなければなりません。こちらはまだまだですが最近また新たな困難と遭遇しました。それは人と仕事をするという事です。

今までは上司の下で、社外の方と直接プロジェクトを進める機会がなかったのですがその機会を頂き、初めて会う人と仕事を進めて行く難しさを経験しました。

プロジェクトは色々なバックグラウンドを持った人達が集まって進めて行きます。

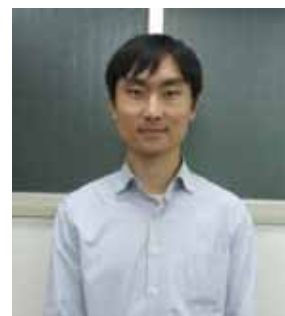
問題が発生した時、その内の一人の意見が強すぎて他の人のアイデアが取り上げられないのではチームを組んで仕事をする強みが損なわれます。かと言ってそれぞれ

の意見を尊重してまとまらなければならぬおさら意味がありません。バランスが重要です。バランスを取れる人、調節できる人が重要です。次のステップアップとして今後そういう事ができるよう挑戦していきます。

そういえば中国ではお正月に餃子を食べる習慣があります。

諸説ありますが私が好きなのは次の理由です。

それは餃子の具は色々な食材が集まっておいしくできているのでお正月は親戚等いろんな人達が集まってわいわいすごせるからということです。やはりみんな仲良しが一番ですね。



(株)ニューシステムズテクノロジー 開発部
呉 文哲(ゴ ブンテツ)

フォレスト総合ケア(株)

明けましておめでとうございます。

日頃から、皆様には各種保険で大変お世話になっております。

山手線の五反田駅も開業101年目を迎えました。

五反田駅から山手通りを越した所の当社、西五反田7丁目の名物といたしましては、現在6代となるあられ・煎餅屋(進世堂)さんをご紹介します。

「江戸みやげ」が、進世堂さんの登録商標されており、以前は築地・入船で開業しており昭和39年に、現在の五反田に移りました。

築地・入船は海鮮問屋などが多く、特に尾張・徳川家の庇護を受け所縁の在る品物が多く「江戸みやげ」は包装紙に葵の紋が使われているのはそのため、「江戸みやげ」の命名は題目(お伊勢参り)の下りから取られたものです。写真は進世堂さんの店舗前で、6代目のお嬢さんと写しました。



(左)フォレスト荻野顧問 (中央)進世堂6代目

フォレスト総合ケア(株) 代表取締役社長 平岡敏雄



セブンヒルズ(株)

旧年中は大変お世話になり有難うございました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

セブンヒルズは八王子市の高倉町にあり、甲州街道に面した交通の便が良いところに有ります。又グルメ店が多く、特に手打ち蕎麦屋(徳兵衛)さんのじょうやうどんが絶品でボリュームもあります。

また隣りにインド料理店、野菜をメインにしたレストラン、日野市の境にうなぎの藤田があります。

この「うなぎの藤田」は本場の浜松にも出店しているうなぎ専門店です。

お近くにお出かけの際はぜひ当社にお寄り下さい。一緒に美味しいものを食べて本年もガンバリましょう！！

セブンヒルズ(株) 代表取締役社長 鎌内 勉

(株)サテリット

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

さて、当社は八王子に本社がありますが、八王子市と隣りの相模原市を中心としてパンの販売をしているオギノパンの揚げパンをご紹介します。

このパンは、2011神奈川フードバトル金賞を2年連続で受賞し、学校給食などにも出されているということです。

むかしなつかしい「給食のあげぱんの味」ということですのでぜひ一度食べてみてください。



(株)サテリット 代表取締役社長 矢澤克弘

日本フライトセーフティ(株)



1月 映画空撮三浦半島

2月 レインボーブリッジ

3月 訓練生合格

4月 東京スカイツリー



5月 新規機体R44導入

6月 入道雲

7月 整備部長誕生日祝

8月 気持ちは明るく節電



9月 航空撮影

10月 東京ヘリポートに虹

11月 イルミネーション

12月 クリスマス・クルージング

新年あけましておめでとうございます。日本フライトセーフティ スタッフブログ担当 伊藤です。ブログ掲載の1年をご紹介します。「今日の一枚」というタイトルで、上空からの写真や情報、NFSでのイベントなど、その日のお気に入り写真を紹介しています。日本フライトセーフティ又はNFSブログでぜひ検索してみてください。



神奈川県

ファナックマグトロニクス(株)



県の花 やまゆり



新年明けましておめでとうございます。

今回は『ご当地自慢・ご当地紹介』ということで、当社からは“座間の大凧”をご紹介します。ご紹介します。

座間の大凧は端午の節句を祝うものとして約200年前から行われており、大きさ13メートル四方、重さは約1トンという大凧(写真の凧の約4倍の大きさ!)が空を舞う大変迫力ある伝統行事です。市制40周年を迎えた昨年は「盛栄」の2文字が描かれた大凧の他に、東日本大震災の復興祈願として「復興」と書かれた凧も揚げられました。勇壮な大凧の姿に勇気づけられる人も多いのではないでしょうか。大凧まつりは例年5月4日・5日に開催されますので、機会がありましたら是非お立ち寄り下さい。最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

ファナックマグトロニクス(株)
経営管理部 廣瀬 綾



静岡県

(株)富士コスモサイエンス



県の花 つつじ



新春を迎え皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

さて、ご当地名物と言えば「富士宮やきそば」です。B級グルメ第1・2回に連続グランプリ受賞し、海外にまで知られるようになりました。富士宮やきそばの美味しさの秘密をご紹介します。

富士宮やきそばの特徴は、麺の強いコシにあります。製法を比べると、小麦粉を水で練って蒸した後に、一般のやきそば麺はボイルしますが、富士宮の麺は冷やして油でコーティングするため、水分が少なくなりコシのある麺になります。

製麺業者は富士宮市内の、マルモ食品、曾我めん、叶屋、木下製麺所です。また、富士宮やきそばには次の特徴があります。

- 厚く大きい鉄板を使い、強い火力で調理する。
- 富士山の湧水を使う。
- 麺をラードで炒める。
- 肉かす(細かくした肉をラードで揚げたもの)を加える。
- 富士宮の高原キャベツを加える。
- 主に辛口ソースを使う。
- イワシの「削り粉(だし粉)」を振りかける。
- 紅ショウガを添える。

食べられる場所は、市内に140カ所もあり、黄色いのぼりが目印です。有名な場所は、富士宮浅間神社向かいのお宮横町の「富士宮やきそば学会」です。一度口にすると止まらない味です。富士宮に来られた際には是非お試しください。

(株)富士コスモサイエンス 代表取締役社長 佐藤龍治



丸忠デジタル(株)

分社グループの皆様、新年おめでとうございます。昨年は東日本大震災により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈り申し上げます。

私たち丸忠デジタル(株)の所在地であります三島市は歴史的に大変古く、又東海道の十一番目の宿場町で、天下の険と言われた箱根を越えた場所にあり安藤広重の東海道五十三次でも紹介されています。

今回紹介させて頂きます三島大社は、創建は大変古く

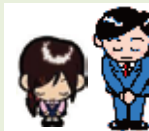
不明ですが奈良時代には多くの人々が信仰の中心としてお守りし、中世以降は武士の信仰が厚く特に源頼朝は三島大社お祭りの夜、大社の神助を頼み挙兵いたしました。旗揚げ成功したのち神領の寄進や社殿の造営を致し多くの武門武将や庶民の信仰の場として広く天下に知られています。境内は大変広く現在でも三島市民の多くの人々の初詣、お宮参り、厄除け、七五三等信仰の場として大切にされています。是非皆様も一度お参りに来てはいかがでしょうか、また三島名物のうなぎは絶品ですよ。

丸忠デジタル(株) 代表取締役社長 増島 清治



分社グループの皆様へ 謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

分社新聞も本号で30号目となりました。このように発行を重ねることができましたのも、ひとえに皆様のご支援とご協力のお陰でございます。心より篤く御礼申し上げますと共に本年も変わらぬご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



分社理念研究所 事務局